



波尔沃 ポルヴォー

步行路线
徒步ルート
公園路線
公園ルート

- 大教堂
大聖堂
- 岸边房屋
海岸の家
- 纳西臣石
ナン臣の巨石
- 老市政厅
旧市庁舎
- 鲁内贝格故居博物馆
ルネベリの家博物館
- 艺术工厂 & 艺术厅
アートファクトリー & アートホール
- 公共汽车站
バスターミナル

旅游信息 観光情報

Lundinkatu 8A
+358 20 69 2250
porvooinfo@porvoo.fi

城市里有什么最新动态?

音乐、夏季市场、展览、各种活动等等。所有活动都可以在活动日历中找到。

街での見もの

音楽、サマーマーケット、展示会、イベントなど。すべてのイベントはイベントカレンダーでご覧いただけます。



步行体验波尔沃 | ポルヴォーを徒歩で体験

1 老桥

从图尔库 (Turku) 通往维堡 (Vyborg) 的 Kuninkaantie 意为国王之路，旅行者们曾经从这条路通过老桥到达波尔沃。从老桥上可以看到河边的仓库、大教堂和风景如画的老波尔沃美景。

2 老市政厅

老市政厅建成于1764年。这是芬兰最古老的市政厅之一，如今是一座博物馆。

3 波尔沃「城堡」

1809年，俄国沙皇亚历山大一世在波尔沃议会期间曾在此生过一晚。

4 西莫林百货商店

这些黄色的石头建筑是芬兰最古老 (自1854年起) 并且仍在运营的百货商店。

5 商人故居

霍尔姆故居的装饰布置看起来就像一个18世纪的商人的家。

6 老卡帕莱森塔洛画廊

充满艺术氛围的展览位于老波尔沃市中心一座珍贵的18世纪建筑内。

7 阿尔伯特·埃德费尔特

阿尔伯特·埃德费尔特1854年出

生于波尔沃郊外四公里的基亚拉 (Kiala)。雕像面向着他出生的庄园。埃德费尔特特异的画作将波尔沃著名的景色永久地保存了下来，他也是最受欢迎的芬兰艺术家之一。

奥尔德·ブリッジ
トウルクからヴィボルグへ続く王の道クンカアンティエ (Kuninkaantie) は、かつては奥ールドブリッジを渡ってポルヴォーへ通じていました。橋の上からは、川沿いの倉庫群、大聖堂、絵のように美しいポルヴォー旧市街の素晴らしい眺めが広がります。

8 波尔沃大教堂

第一座教堂建于13世纪与14世纪之交，现在的教堂建成于1450年代。几个世纪以来，教堂曾多次遭到破坏和袭击。1723年被祝圣为大教堂。

9 议事堂

在1809年波尔沃议会上，亚历山大一世曾致开幕词，并且举办了舞会庆祝议会召开。

10 主教官邸

芬兰瑞典语教区的主教官邸于1923年在波尔沃设立。主教官邸于1927年完工。

11 恶魔的阶梯

根据古老的传说，恶魔曾亲自参与建造这个类似阶梯的岩石。从阶梯顶部可以看到美丽的景色，阶梯旁边还有一个小公园。

12 林森公园

加布里埃尔·林森 (Gabriel Linsén, 1838年-1914年) 是一个多产的作曲家。他的妻子

娜莉莉亚是芬兰最早的女摄影师之一。

13 弗雷德里卡·鲁内贝格公园

公园里种植了许多弗雷德里卡最喜欢的植物。弗雷德里卡纪念碑雕像面向着她的丈夫约翰·路德维格·鲁内贝格 (Johan Ludvig Runeberg) 的雕像。

14 鲁内贝格公园

鲁内贝格公园内有一座纪念芬兰民族诗人鲁内贝格的纪念碑，该纪念碑由鲁内贝格的儿子、雕刻家沃尔特·鲁内贝格 (Walter Runeberg) 创作。

15 鲁内贝格故居博物馆

芬兰民族诗人约翰·路德维格·鲁内贝格和夫人弗雷德里卡的故居是芬兰最古老的故居博物馆。在这里您可以体验到1860年代正宗的资产阶级住宅氛围。

16 艺术工厂和艺术厅

艺术工厂的历史可以追溯到当第一座厂房落成时的1920年代。2012年，经过修复的文化和会议中心竣工。该中心不仅有会议和活动设施，也有艺术家工作室、电影院、咖啡馆、餐馆和商店。您可以免费参观艺术工厂，体验艺术厅内每月更换的现代艺术展。

17 奥古斯特·埃克勒夫公园

奥古斯特·埃克勒夫公园是为了庆祝2009年波尔沃议会召开200周年而设计的。公园由企业集团董事长奥古斯特·埃克勒夫 (August Eklöf) 的命名。公园里有由基尔西·考拉宁 (Kirsi Kaulanen) 和伊尔瓦·霍兰德 (Ylva Hölländer) 设计的波尔沃议会三联作品，西面描述了瑞典，东面描述了俄罗斯，北面描述了芬兰。

18 河边仓库的景色

波尔沃以其河边的红棕色木制仓库而闻名。在过去，船只从海上逆流而上，在这里装卸货物。商人们用仓库来储存货物。

19 林纳迈基

林纳迈基城堡山是芬兰最大的古老堡垒，从8世纪到14世纪一直被使用。目前该地区受《文物法》的保护。

还有更多

您可以在导游的带领下聆听过去的故事。

まだまだあります

ガイド付きウォーキング・ツアーで昔話を聞いてみましょう。

アートファクトリーとアートホール

最初の工場ビルが完成した1920年代まで遡ります。修復された文化・会議センターは2012年に完成し、会議・イベント施設、アーティストのアトリエ、映画館、カフェ、レストラン、売店などが入っています。アート・ホールには無料で入場でき、月替わりの展示でさまざまな現代アートを体験できます。

アウグスト・エクロフ公園

この公園は、2009年のポルヴォー議会200周年を記念して設計され、財閥の取締役アウグスト・エクレーフにちなんで名づけられました。公園には、キルシ・カウラネンとユルヴァ・ホレンダーがデザインしたポルヴォーの国会三連立図があり、西側はスウェーデン、東側はロシア、北側はフィンランドを描いています。

川沿いの倉庫群

ポルヴォーは、川岸に並ぶ赤黄土色に塗られた木造の倉庫群でよく知られています。その昔、船は海から川を上り、ここで荷物の積み下ろしをしました。倉庫は商人たちが商品を保管するために使っていました。

ルネベリ公園

ルネベリ公園には、彼の息子で彫刻家のヴァルター・ルネベリによって作られた国民的詩人の記念碑があります。

ルネベリ家博物館

フィンランドの国民的詩人J.L.ルネベリと妻フレデリカの邸宅は、フィンランド最古の歴史的邸宅博物館です。ここで、1860年代の本物のブルジョワの家の雰囲気を感じることができます。

悪魔の階段

昔話によると、悪魔が階段のようなこの岩を作るのに一役買ったといわれています。階段の上からは素晴らしい眺めが楽しめます。階段の隣には小さな公園があります。

